

## 事業者登録に当たっての表明書

(〇〇株式会社)は、

GX推進戦略において掲げられている以下からIVの「国による投資促進策の基本原則」を理解し、脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金(脱炭素志向型住宅の導入支援事業)における事業者の登録に伴い、以下のアからエの必須事項並びにオ及びカの任意事項のうち、チェックした項目について表明する。

- I. 資金調達手法を含め、企業が経営革新にコミットすることを大前提として、技術の革新性や事業の性質等により、民間企業のみでは投資判断が真に困難な事業を対象とすること
- II. 産業競争力強化・経済成長及び排出削減のいずれの実現にも貢献するものであり、その市場規模・削減規模の大きさや、GX達成に不可欠な国内供給の必要性等を総合的に勘案して優先順位を付け、当該優先順位の高いものから支援すること
- III. 企業投資・需要側の行動を変えていく仕組みにつながる規制・制度面の措置と一体的に講ずること
- IV. 国内の人的・物的投資拡大につながるもの(資源循環や、内需のみの市場など、国内経済での価値の循環を促す投資も含む。)を対象とし、海外に閉じる設備投資など国内排出削減に効かない事業や、クレジットなど目標達成にしか効果が無い事業は、支援対象外とすること

ア 以下の(1)または(2)の取組を実施します。

又  (1) GXリーグへの参画

は  (2) 以下の取組

<input type="checkbox"/> 多排出者 <sup>※1</sup> (中小企業 <sup>※2</sup> を除く)の場合	<input checked="" type="checkbox"/> 多排出者 <sup>※1</sup> 以外の者及び中小企業 <sup>※2</sup> の場合
<input type="checkbox"/> ①から③のすべてを満たす。	<input checked="" type="checkbox"/> ④を満たす。
① 国の温室効果ガス排出削減目標達成に貢献するため、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを旨とし、国内でのScope1・2に関する削減目標を設定・公表、かつ進捗状況を毎年報告・公表	④ 温室効果ガスの排出削減のための以下の取組 <sup>※</sup> を実施 ※少なくとも1以上の項目にチェックを入れてください。
② ①の目標達成ができない場合、J-クレジット等の適格クレジットを調達または未達理由を報告・公表	
③ サプライチェーン全体でのGX実現に向けた取組を促進	
	<input type="checkbox"/> 自社の二酸化炭素排出削減目標の策定(2050年又はそれ以前の実質ゼロを基本とし、可能であれば中間的な目標を設定)
	<input checked="" type="checkbox"/> 自社の省エネ/再エネ目標の策定
	<input checked="" type="checkbox"/> 設備更新時の省エネ設備の選択による省CO <sub>2</sub> 化
	<input checked="" type="checkbox"/> 再エネの導入(グリーン電力の購入含む)による省CO <sub>2</sub> 化
	<input type="checkbox"/> サプライチェーン全体での二酸化炭素排出量の把握などの取組
	<input type="checkbox"/> 物流部門における積載率向上・共同配送などの取組
	<input type="checkbox"/> 自社建築物のZEB化の推進
	<input type="checkbox"/> 自社建築物への木材(CLTなど)の利用推進

※1 多排出者=地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度によって公表された令和3年度CO<sub>2</sub>排出量が20万t以上の者

※2 中小企業=中小企業基本法に規定する中小企業者に該当する者

イ 以下のとおり表明します。

又は

<input type="checkbox"/> 2024年度の新築住宅の供給数が <sup>3</sup> 100件以上の場合	<input checked="" type="checkbox"/> 2024年度の新築住宅の供給数が <sup>3</sup> 100件未満の場合
<input type="checkbox"/> ZEHビルダー/プランナーとして、自社が掲げる2025年度のZEH普及目標の実現に努めます。また、年度ごとの実績等を自社のホームページ等において公表します。	<input checked="" type="checkbox"/> 2030年に向けて、ZEH基準の水準の省エネ性能を満たす住宅の供給割合を増加させます。
<input type="checkbox"/> 2025年度に供給する住宅のうち、ZEH基準の水準の省エネ性能を満たす住宅の割合を5割以上に増加させます。	

ウ 温室効果ガス排出削減に資する製品等におけるコスト競争力の向上や国内企業の海外進出等につなげるため、以下の取組を進めます。

※少なくとも1以上の項目にチェックを入れてください。

又は

<input type="checkbox"/> 2024年度の新築住宅の供給数が5000件以上の場合	<input checked="" type="checkbox"/> 2024年度の新築住宅の供給数が5000件未満の場合
<input type="checkbox"/> 海外への進出 海外への進出計画について、以下に記述 <sup>*</sup> してください。 記載例： ・2030年までに海外( 地域)における売り上げ●億円を目指す。 ・2030年までに海外( 地域)における供給戸数●戸を目指す。 ・2030年までに海外( 地域)における管理戸数●戸を目指す。 ※計画書等の既存資料を添付いただく場合は、省略しても構いません。	<input type="checkbox"/> 海外への進出 海外への進出計画について、以下に記述 <sup>*</sup> してください。 記載例： ・2030年までに海外( 地域)における売り上げ●億円を目指す。 ・2030年までに海外( 地域)における供給戸数●戸を目指す。 ・2030年までに海外( 地域)における管理戸数●戸を目指す。 ※計画書等の既存資料を添付いただく場合は、省略しても構いません。 <input checked="" type="checkbox"/> 省エネ性能の高い製品等の積極的な採用

エ 働き方改革の推進等、必要な人材の確保に向けた取組を進めます。

(以下、任意となります)

オ 「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)を推進するため、デコ活応援団(官民連携協議会)参画及びデコ活宣言を行います。

※ デコ活宣言については以下のサイトをご覧の上、別途、同サイトから行ってください。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>

(デコ活宣言のイメージ)

- ・△△を通じてデコ活を後押しします！  
(△△の例:脱炭素につながる製品、サービス、取組の展開など)
- ・生活・仕事の中で、△△を行い、デコ活を実践します！  
(△△の例:脱炭素につながるデコ活アクションなど)

カ GX市場創造に向け、GX製品やサービスの社会実装を促進するため、「GX率先実行宣言」を行います。

※ GX率先実行宣言については以下のサイトをご覧の上、別途、同サイトから行ってください。

<https://gx-league.go.jp/>

表明日	2025年 月 日
事業者名	〇〇株式会社
代表者名	〇〇 〇〇
連絡先(担当部署)	〇〇〇部
表明したURL等	<a href="https://-----/sankou">https://-----/sankou</a>